



K-1 カレッジ 【K-1 カレッジ 2018 出場申込み用】筆記試験

出場区分(K-1 甲子園) 階級: kg ジム名: 選手名: _____

以下は試合ルールについての文章です。正しいと思うものには「○」、間違いと思うものには「×」を記入してください。



- () ① 相手選手からダウンを奪った選手は、ただちに相手選手より遠いニュートラルコーナーに移動して待機しなければならない
- () ② 選手がダウンした場合、カウント9以内で立ち上がれば、ファイティングポーズを構えなくても、ノックアウト負けとはならない
- () ③ 一方的に相手選手の攻撃を受け続けたときは、たとえ立っていてもレフェリーにダウンを宣告される場合がある
- () ④ 選手が負傷してドクターチェックの結果、試合続行不可能とリングドクターが判断した場合、TKO負けとなる
- () ⑤ スリップで倒れた相手に攻撃したり、レフェリーの「ブレイク」コール後に相手を攻撃することは反則である
- () ⑥ 肘打ちや頭突きは、レフェリーや相手選手に見つからなければ行っても良い
- () ⑦ 試合の採点は3名のジャッジより行なわれ、2名以上の支持を得た選手が勝者となる
- () ⑧ 相手に組み付く行為や首相撲、投げ技は全面的に禁止である
- () ⑨ セCONDが粗暴な振る舞いをしたり、相手選手を中傷、侮辱する言動があった場合は反則の対象となる
- () ⑩ セCONDは観客の邪魔にならない場所であれば何名いても構わない
- () ⑪ Aクラスの出場選手は、マウスピースを着用してもしなくても良い
- () ⑫ 身体にオイル類を塗り付けて試合出場する行為は禁止である
- () ⑬ ファールカップについての制約は無く、普段使い慣れたものを使っても良い
- () ⑭ 試合出場を申し込む際は、ジム・道場代表者(会長)の許可が必ず必要である
- () ⑮ バンテージに異物を混入したり、不正が認められた場合は失格負けとなる
- () ⑯ ロープを掴んだり、ロープの反動を利用しての攻撃は反則である
- () ⑰ 相手選手の蹴り足を掴んでから攻撃を加える行為は、1試合につき3回まで認められている
- () ⑱ 計量で規定時間内に規定体重をクリアできなかった選手は、失格として試合出場不可となる
- () ⑲ 試合前にリングインした際と、試合が終了してリングアウトする際は、いずれも「一礼」することが望ましい
- () ⑳ 過去のプロキャリアや年齢などを偽っての試合出場は禁止であり、これが発覚した場合は失格となる

ご記入ありがとうございました。この用紙は出場申込書に同封し、送付してください。